

LOCK STAR-NW マニュアル

第3版

ロジカルテック株式会社

もくじ

はじめに.....	3
注意事項.....	4
製品使用許諾契約書.....	5
基本仕様.....	6
製品構成.....	7
ユーティリティ CD-ROM の構成.....	7
使い方.....	8
ユーティリティの使い方.....	8
サーバの使い方.....	12
クライアントインターフェイスの使い方.....	13
エラーコード表(16 進数).....	14
SERVER 起動 ERROR.....	14
CLIENT 設定 ERROR.....	15
LOCK STAR BOX ERROR.....	15
保証とサポート.....	16
保証期間.....	16
サポート.....	16
トラブルシート.....	17

はじめに

LOCK STAR-NW は、クライアントあるいはサーバでソフトウェアのライセンス管理を可能にしたネットワーク対応コピープロテクト製品です。

実際にご使用いただき、ご意見・ご要望等がございましたら、是非弊社までお寄せください。

『LOCK STAR-NW』は、ユーザの皆様と共に、進化・発展してゆく所存でございます。

なお、本マニュアルの作成には、万全を期しておりますが、万一お気づきの点やご不明な点がございましたら、弊社までご一報いただければ幸いです。

また、マニュアルの内容及び製品のデザインや仕様は、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

『LOCK STAR』はロジカルテック(株)の登録商標です。

MS-DOS、Windows はマイクロソフト社の商標です。

その他、本書に記載されている製品・商品名はそれぞれの発売元あるいは製造元の登録商標です。

本書の著作権は、弊社に帰属しますので、御自身でお使いになる以外、許可なく複写・複製等の行為を禁じます。

注意事項

- ◆ 製品使用許諾契約書を必ずご確認ください。
- ◆ 本製品はすべての PC での動作を保証するものではありません。
- ◆ パソコンと接続ケーブル、または周辺機器の組み合わせにより、動作しないまたは対応できない場合があります。
- ◆ PC に USB キーを接続したとき、また接続している状態で USB キー本体にある LED ランプが点灯しない場合は、USB キーを抜き挿ししてみてください。それでも点灯しない場合は、壊れている可能性がありますので利用を停止してください。絶対に LED ランプが消灯している状態でご利用にならないでください。
- ◆ LED ランプが点滅中、あるいは USB キーへのデータ書き込み・読み出し中に PC から取り外したり、電源を切ったりしないでください。
- ◆ 本製品を水中、降雨、水滴、過度の衝撃、振動にさらさないでください。
- ◆ 関数のコール回数は 3 回以上を推奨致します。(3 回のコールで 1 回でも OK の場合は抜けるようにする)

製品使用許諾契約書

この度は、弊社製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。以下ソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約書」）を充分にお読みください。

本契約書は、下記に示されたロジカルテック株式会社（以下「ロジカルテック」）のソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」）に関してお客様とロジカルテックとの間に締結される法的な契約書です。本ソフトウェアは、本契約に基づきお客様に提供されるコンピュータソフトウェア及びそれに関連した媒体、ならびに印刷物（マニュアルなどの文書）をいい、「オンライン」または電子文書を含むこともあります。

製品名：LOCK STAR-NW

第1条(使用許諾)

ロジカルテックは、本ソフトウェアをロジカルテックのハードウェア製品「LOCK STAR-NW」のみにおいて使用できる使用権をお客様に許諾します。

第2条(無体財産権)

本ソフトウェアに関する著作権その他の知的財産権はロジカルテックに帰属するものであり、本契約は、本ソフトウェアに関する著作権その他の知的財産権をお客様に移転するものではありません。

第3条(改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの制限)

お客様は、本ソフトウェアを改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルしてはなりません。

第4条(保証)

ロジカルテックは本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行います。なお、この保証は日本国内のみにおいて有効とします。

- ① お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内にロジカルテックが本ソフトウェアの誤りの修正を行ったときは、ロジカルテックはその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、ロジカルテックがその裁量により情報の提供を決定した場合に限ります。
- ② 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来すような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、ロジカルテックは当該記録媒体を無償で交換するものとします。（ただし、ロジカルテックが当該欠陥をロジカルテックの責任と認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関してロジカルテックが行う唯一の保証とします。

第5条(免責)

- ① ロジカルテックは、本ソフトウェアに関して前条の保証以外にはいかなる保証も行わないものとし、前条の場合以外に、本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- ② ロジカルテックは、本ソフトウェア及びその関連印刷物並びに本ソフトウェアとともに提供するハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等の保証を含む、一切の保証を明示的にも黙示的にも行わないものとします。
- ③ ロジカルテックは、本ソフトウェアの使用により生じる、商業的利益の逸失、商業の支障、その他一切の損害について、いかなる場合でも（たとえかかる損害の生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても）いかなる責任をも負わないものとします。

第6条(管轄裁判所)

本契約書に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

基本仕様

商品名 : LOCK STAR-NW		
動作環境	OS	Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2008
	ハードウェア	上記 OS のメーカーサポート範囲内で、USB 端子を装備している機種
	メモリ	サポートする OS の推奨範囲
	HD 容量	10MB 以上
インターフェイス	USB1.1 準拠	
製品寸法	W19mm×L58mm×H8mm 重さ約 8g (キャップ部分含めず)	
使用環境	温度 0~70℃ 湿度 0~80%(結露しないこと)	
動作電圧	4~5.5V	
開発言語	DLL とリンクできるすべての言語	

製品構成

LOCK STAR-NW の製品構成は次のとおりです。

- LOCK STAR-NW 本体(USB キー)

- ユーティリティ CD-ROM

新規ご購入時に限り、1 枚付属します。



LOCK STAR-NW を追加でご購入の際は、USB キーのみの販売となります。

ユーティリティ CD-ROM の構成

LOCK STAR-NW のインターフェイスソフト及びユーティリティの構成をツリーで以下に示します。

「Demo」フォルダ : デモファイル

 └── Demo.c ----- C デモファイル

「TCP/IP」フォルダ : TCP/IP 用ファイル

```

└── 「Client」フォルダ : ユーザインターフェイス
    ├── 「静的リンク VC6-Lib」フォルダ : VC6 用ライブラリファイル
    ├── CLISSETUP.EXE ---- クライアント用 IP セットアップファイル
    ├── LPSTCPIP.DLL ---- クライアント用インターフェイス
    └── LPSTCPIP.LIB ---- クライアント用インターフェイス
└── 「Server」フォルダ : サーバアプリケーション
    └── psserver.exe ----- アプリケーション
  
```

「UTIL」フォルダ : ユーティリティ

```

└── NOSETDLL.DLL ---- ユーザ権限設定用インターフェイス
└── NOSETDLL.LIB ---- ユーザ権限設定用インターフェイス
└── ntsetup.exe ----- ID セットアップファイル
└── NUMDEMO.C ----- ユーザ権限設定デモファイル
  
```

使い方

ユーティリティの使い方

CD-ROM の「UTIL」フォルダを必要に応じて PC の任意の場所にコピーしてください。
「UTIL」フォルダ内の「ntsetup.exe」を起動します。
必ず PC 本体に LOCK STAR-NW を取り付けてから、「ntsetup.exe」を起動してください。

1. 【初期画面 1】

ポートの選択で USB を選択し、「OK」をクリックします。

※他のポートは現行の製品では使用できません。



2. 【初期画面 2】

カンパニーIDとパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

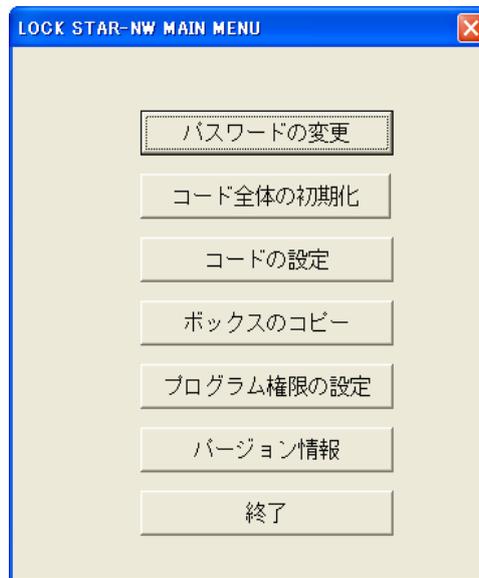
カンパニーIDは、初回ご購入時の製品送付状に記載しています。

パスワードの初期値は、「12345678」です。



3. 【メインメニュー】

初期画面でカンパニーIDとパスワードの入力が確認されると、セットアップのメインメニューが表示されます。

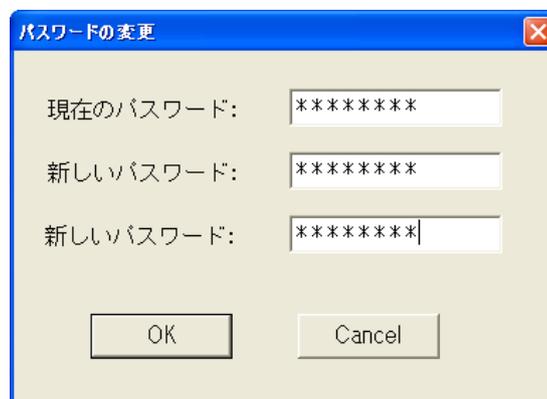


4. 【パスワードの変更】

このメニューは、初期画面で入力したパスワードを変更する場合に使用します。
次の画面で現在設定しているパスワードと新しく設定するパスワードを入力します。

※上位 4 ケタと下位 4 ケタとが同じ数字にならないように注意してください。

(良い例: 12341235、悪い例: 12341234)



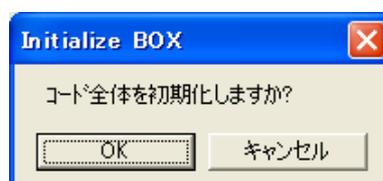
5. 【コード全体の初期化】

このメニューでは、次のメニューの「コードの設定」で設定された内容を初期値に戻します。

メインメニューのボタンをクリックすると、下のメッセージが表示されます。

「OK」をクリックすると初期化がスタートします。

※「プログラム権限の設定」は初期化の対象ではありません。



6. 【コードの設定】

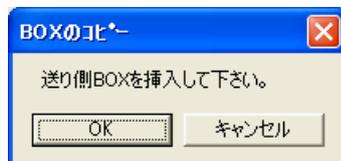
「コードの設定」は、最大 30 種類、設定・変更できます。設定値を入力して「ライト」をクリックすると設定されます。

NO	CODE	RET CODE	NO	CODE	RET CODE	NO	CODE	RET CODE
1	1234	0000	11	0000	0000	21	0000	0000
2	5678	0000	12	0000	0000	22	0000	0000
3	ABCD	0000	13	0000	0000	23	0000	0000
4	0000	0000	14	0000	0000	24	0000	0000
5	0000	0000	15	0000	0000	25	0000	0000
6	0000	0000	16	0000	0000	26	0000	0000
7	0000	0000	17	0000	0000	27	0000	0000
8	0000	0000	18	0000	0000	28	0000	0000
9	0000	0000	19	0000	0000	29	0000	0000
10	0000	0000	20	0000	0000	30	0000	0000

7. 【ボックスのコピー】

このメニューでは、マスターとなる、設定された LOCK STAR-NW のパスワード・コード・リターンコードを他の LOCK STAR-NW にコピーします。

※カンパニーID、パスワードが異なる場合は、コピーできません。



ここでは、マスターの LOCK STAR-NW が PC につながっていることを確認します。



ここで新しい LOCK STAR-NW に挿し替えて「OK」を押すとマスターの内容がコピーされます。

8. 【プログラム権限の設定】

ここではプログラムごとに MAX Code 範囲内でクライアントの権限を設定してください。

最大 256 種類のプログラムを設定することが可能です。

「UTIL」フォルダ内の「NOSETDLL.DLL」を使用して、プログラム上でも設定することができます。

使用方法については同フォルダ内の「NUMDEMO.C」を参照してください。また、OS ごとにドライバが必要です。

※「コード全体の初期化」により、この設定を初期化することはできません。

プログラム毎にMax Code範囲で権限(HEX)を設定してください。

NO	CODE	NO	CODE	NO	CODE	NO	CODE
1	1	9	00	17	00	25	00
2	2	10	00	18	00	26	00
3	3	11	00	19	00	27	00
4	4	12	00	20	00	28	00
5	5	13	00	21	00	29	00
6	6	14	00	22	00	30	00
7	7	15	00	23	00	31	00
8	00	16	00	24	00	32	00

Max Code: 0A

書込み

検索

終了

前へ

次へ

9. 【バージョン情報】

ここではユーティリティのバージョン情報を表示します。

10.【終了】

このキーをクリックすると、ユーティリティを終了します。

サーバの使い方

CD-ROM の「TCPIP」フォルダ内の「Server」フォルダを PC の任意の場所にコピーしてください。

「Server」フォルダ内の「psserver.exe」を起動します。

ログファイルは、「psserver.exe」と同じディレクトリに作成されます。

ユーザ	
アクセス情報	選択したクライアントの情報を表示します。
切断	選択したクライアントを強制的にログアウトさせます。
パスワードの設定	サーバ設定用の認証パスワードを設定します。
終了	サーバを終了します。 (ただし、稼働中のクライアントが存在する場合は終了できません。)
ログ	
None	ログの表示・保存を一切行いません。
モニタ	ログをログモニタへ表示し、保存は行いません。
ファイル	ログをファイル「psserver.LOG」に保存し、ログモニタへの表示は行いません。
両方	ログをログモニタに表示し、同時にファイル「psserver.LOG」に保存します。 起動時は必ず「両方」に設定されています。
Clear Log Window	ログモニタの表示を消去します。
オプション	
サーバオプション	ログモニタの表示件数と接続ポートについて設定を行います。
ユーザリスト	稼働中のクライアントのリストを全画面表示します。
ログモニタ	ログモニタを全画面表示します。
スプリットバーの設定	クライアントリストとログを同時に表示する場合の境界線の位置設定を行います。
常にトップ	ウィンドウを常に手前に表示するように設定します。
Save Settings Now	環境設定を保存します。
Help	
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

クライアントインターフェイスの使い方

CD-ROM の「TCPIP」-「Client」フォルダ内の「LPSTCPIP.DLL」または「LPSTCPIP.LIB」を使用してください。

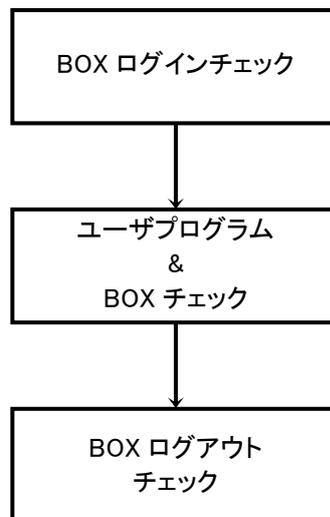
また、TCP/IP 対応のクライアントソフトを実行する前に、CD-ROM の「TCPIP」-「Client」フォルダ内の CLISSETUP.EXE を使って IP を設定する必要があります。

プログラム作成については、CD-ROM の「Demo」フォルダ内の「Demo.c」を参照してください。

● 説明

programno	-----使用するプログラムの番号
dl.D	-----カンパニーI.D.の上位 4 桁(初回ご購入時の製品送付状に記載)
comp	-----カンパニーI.D.の下位 4 桁(初回ご購入時の製品送付状に記載)
area	-----パスワードの上位 4 桁
comNo	-----ポートナンバー(0)
no	-----ボックスの使用するナンバー(1~30)
ID	-----ボックスのコード(0)
data	-----リターンコード
PSTCPIP()	-----TCP/IP 対応関数
SW	-----ドライバを削除するかどうかのパラメータ(常に 0 を設定してください。)

● チェック手順のフローチャート



エラーコード表(16 進数)

SERVER 起動 ERROR

ネットワーク設定に関するエラー : 1ーー40

-----also returned when ASYNCH request accepted -----

(参考 WIN32SDK NCB)

01	: illegal buffer length
03	: illegal command
05	: command timed out
06	: message incomplete, issue another command
07	: illegal buffer address
08	: session number out of range
09	: no resource available
0a	: session closed
0b	: command cancelled
0d	: duplicate name
0e	: name table full
0f	: no deletions, name has active sessions
11	: local session table full
12	: remote session table full
13	: illegal name number
14	: no callname
15	: cannot put in NCB_NAME
16	: name in use on remote adapter
17	: name deleted
18	: session ended abnormally
19	: name conflict detected
21	: interface busy, IRET before retrying
22	: too many commands outstanding, retry later
23	: ncb_lana_num field invalid
24	: command completed while cancel occurring
26	: command not valid to cancel
30	: name defined by another local process
34	: environment undefined. RESET required
35	: required OS resources exhausted
36	: max number of applications exceeded
37	: no saps available for netbios
38	: requested resources are not available
39	: invalid ncb address or length > segment
3B	: invalid NCB DDID
3C	: lock of user area failed
3f	: NETBIOS not loaded
40	: system error

CLIENT 設定 ERROR

- 2000 : ユーザ数の超過
- 2001 : プログラム数の超過
- 2002 : トータルユーザ数の超過
- 2003 : メモリ確保エラー
- 2004 : マスクエラー
- 2005 : ハンドルエラー
- 2006 : ログアウト時のコンピュータ名・ユーザ名の誤り
- 2007 : メモリ開放エラー
- 2008 : プログラムナンバー設定エラー

LOCK STAR BOX ERROR

- 1001 : カンパニーI.Dの上位 4 桁の照合エラー
 - ・LOCK STAR-NW が USB ポートに接続され正常に認識されているか、各ポートがアクセス可能な状態かどうかをチェック。または、再度接続し直してみる。
- 1002 : カンパニーI.Dの下位 4 桁の照合エラー
 - ・プログラムの I.D が正しいかどうかをチェック。
- 1003 : パスワードが上位 4 桁、または下位 4 桁と一致しない照合エラー
 - ・パスワードをチェック。
- 1004 : ボックスのコード照合エラー
 - ・プログラムで記したコードと、SETUP で設定したボックスのコードが一致しているかどうかをチェック。
- 1005 : ボックスのロット番号設定エラー
 - ・プログラムで記したボックスのナンバーをチェック。(設定範囲は 1-30)
- 1006 : RS232C ポート番号の指定エラー(※現行の製品では表示されません。)
 - ・プログラムで記したポート番号をチェック。(設定範囲 0-3)
- 1031 : データのリードエラー
 - ・ポートが存在するかどうかをチェック。
- 1020-1024 : ドライバのインストール、OPEN、削除のエラー
 - ・一般ユーザでログインしているかどうかをチェック。
 - ・Administrator でログインし直す。

◎上記以外のエラーは、別途お問い合わせください。

保証とサポート

保証期間

保証期間は、本製品ご購入日より1年間です。
ただし、以下に該当する場合は保証の対象外とさせていただきます。

- ◆ ご購入後2週間以内にユーザ登録を行われなかった場合
- ◆ ご使用中に生じた外観の損傷
- ◆ 火災、天災、震災による故障、損傷
- ◆ 落下、強度の衝撃、誤用、水没による故障、損傷
- ◆ ユーザによる改造や、修理が行われた場合

サポート

何かトラブル等がございましたら、巻末のトラブルシートをご利用いただき、弊社までご連絡ください。なお、ユーザ登録がお済みでない場合は、サポートをお断りする場合もございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせについては、メールまたはFAXにてお願いいたします。

- ◆ 受付時間 : 9:00~18:00 ※土日祝日、弊社休業日を除きます。
- ◆ FAX : 03-5496-0213
- ◆ メール : support@logicaltech.co.jp

トラブルシート

何かトラブル等がございましたら、このトラブルシートにご記入後、弊社まで FAX または E-mail にてお送りください。折り返し担当者よりご連絡させていただきます。

ロジカルテック株式会社 製品サポート部 行
 FAX:03-5496-0213 E-mail:support@logicaltech.co.jp

年 月 日

ユーザ情報		
御社名		
部署名		
御担当者名		
E-Mail	@	
TEL		FAX
開発言語とバージョン		
_____ Ver. _____		
<input type="checkbox"/> 32 ビット <input type="checkbox"/> 64 ビット		
PC の環境		
PC	メーカー・機種:	
OS	<input type="checkbox"/> Windows XP <input type="checkbox"/> Windows Vista <input type="checkbox"/> Windows 7 <input type="checkbox"/> Windows Server 2003 <input type="checkbox"/> Windows Server 2008 チェックを入れた OS のエディションとサービスパック()	
その他確認事項		
ロック方法	<input type="checkbox"/> DLL コール <input type="checkbox"/> OBJ リンク	
エラー番号	_____	
トラブルの発生状況		
具体的なトラブルの内容をご記入ください。(トラブル時の操作、現象、エラーメッセージ、発生頻度等)		

3.0